

2022年度（公財）加納美術振興財団事業計画（案）

2022.2.18 作成

1. 2018年度より5年間、安来市より安来市加納美術館の管理者に指定され、本年度が最終年度となった。

協定に基づき美術館の管理運営と収蔵品の保持・保存業務を行うとともに、安来市をはじめ地域文化芸術の掘り起しと振興に努める。

2. 加納莞菴のフィリピン戦犯釈放運動を通して確立されたキリノ大統領の「平和を希求するモラル」を、各種諸団体・個人と協力して世に広める活動をする。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、活動が計画通りに進行しにくい状況であるが、

① 加納莞菴の外国との往復書簡を安来市文化財指定に向けた活動

② ユネスコ「世界の記憶」登録再申請に向けた活動

を安来市教育委員会、島根大学等の学術機関、フィリピン関係団体等の協力を得て進める。

「加納莞菴平和国際交流基金」の運用を継続させる。

加納莞菴の想いを次世代へ繋いでいくために、児童・生徒の平和教育の場を提供していく。

3. 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、水彩画、書、彫像、彫刻、漆器等の美術作品の展示、保存管理及びそれらに関する学術研究、講演会を実施する。

4. 展示及び講演会などの宣伝・啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、電柱広告、安来市広報誌、美術館だより、SNS、YouTube などにより行う。

5. 2022年度の企画展及びイベントについては次の通りである。

① 企画展（日程は予定です）

○4/16（土）～7/10（日） 没後45年 加納莞菴展

○7/16（土）～9/4（日） 平和絵本展 浜田桂子 へいわってどんなこと？

○9/10（土）～10/24（月） 共同巡回展 肉眼を超えたレンズ 土門拳作品展

○10/30（日）～12/24（土） 安来ゆかりの美術家たちⅡ

○1/11（水）～3/26（日） 瀧秋方展 / 加納溥基コレクション 珠玉の名碗展（仮）

○常設展 『加納莞菴』展、『名碗』展 等

② イベント

例年行っている名碗会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、収束に向かった場合再考する。

また、各企画展にあわせた講演会、ワークショップ等のイベントは、インターネットを使用してオンラインで行うことも含めて企画する。

6. 美術館のサービス向上『癒しとくつろぎのある美術館』を目指して—

① 従来行っていた来館者への茶菓、抹茶のふるまいは、5・②同様とする。

② 音声・映像ガイドの有効活用を進める。（2021年度、館内Wi-fi設備を充実済）

③ アウトリーチ（出前授業、講演）を行う。

④ 新型コロナウイルスなど感染症の拡大防止に十分に配慮する。

7. 館の運営

① 次世代を託せる学芸員の確保に努める。

② ボランティア、サポーターの支援によりイベントをスムーズに運営する。

③ 各種ファンド、補助金制度などの利用を積極的に行う。

8. 地域振興事業の推進

① しまねミュージアム協議会、県内文化協会、文化事業団体などと連携する。

② 市内文化施設や交流センターなどとの連携により、地域の芸術、文化振興を図る。

③ 教育委員会等と連携して児童生徒の美術、道徳、平和教育の支援、また他市等からの「平和学習」を目的とする修学旅行生や校外学習の訪問先として当館が選択されるように働きかける。

④ 加納莞菴のフィリピン戦犯助命嘆願活動における往復書簡（約300通）の安来市文化財指定及びユネスコ「世界の記憶」登録再申請のための研究と準備を行う。

9. 作品、建屋、設備機器の修復

① 作品台帳のデジタルデータベース化の構築

（2021年度導入済であるデータベースシステムの有効活用）

② 作品修復（シミ、カビ、破れなど5点程度）

③ 道路看板の整備修正

④ 庭園の手入れ（除虫、除草の徹底）

10. その他

① 戦犯助命嘆願関係書類の整理・保存

② ①について、学術研究をすすめるため、大学などの研究機関および研究者等の協力を得る。

10/30（日）～12/24（土） 島田皓紀・内田洋彩 水墨画展
1/11（水）～3/26（日） 安来ゆかりの美術家たちⅡ
へ変更になりました。